

救命病棟にご入院された患者さんへ

救命病棟入院患者における早期栄養介入の実態把握と GLIM 基準の活用方法についての

研究に関するご協力をお願い

福岡東医療センター 栄養管理室で以下の研究を実施しています。

この研究は、電子カルテに登録されたデータをもとに振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる研究方法です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	救命病棟における早期栄養介入の実態把握と GLIM 基準の活用方法について
【研究実施期間】	2024 年 8 月 6 日～2025 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 栄養管理室 研究責任者 藤野 恵理
【対象となる方】	西暦 2024 年 6 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日に救命病棟に入院し、診療を受けた方
【研究の意義、目的、方法】	救命病棟入院患者における GLIM 判定(表現型基準、病因基準、低栄養重症度)の把握と栄養介入内容、入院期間中の栄養量や体重変化、在院日数、退院時の栄養量と体重、GLIM 判定の実態調査を行い、栄養介入の評価を行います。救命病棟に入院する低栄養患者の背景と低栄養判定の項目、栄養介入内容を調査することで介入強化が必要な患者を予測し、効果的な栄養士の介入につなげられる可能性があります。電子カルテからデータ検索を行い情報を解析します。
【利用する試料・情報の種類】	電子カルテに登録されている年齢、性別、診療科、病名、入院経路、身長、入院時体重、BMI、入院時 MNA-SF、入院時 GLIM 判定、早期栄養介入時の推定必要栄養量、入院後 7 日目の摂取栄養量、退院時摂取栄養量、退院時体重、退院時 GLIM 判定の情報を使用します。

【個人情報の保護】	研究に際して際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人情報が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者： 栄養管理室 藤野 恵理 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）